

飛鳥京が形成された地域であり、重要文化的景観に選定された豊かな歴史的風土を有する地区

整備のコンセプト:

奥飛鳥における水辺景観の保全と創造

◆植栽景観の現状の課題

- 治水事業として遊水池や護岸整備を実施中であるが、植栽や植生回復による彩りが少ない。
- 奥飛鳥にふさわしい景観の保全と創出に資する植生回復、親水性確保、視点場整備等が求められる。

課題解決への
主な対応

- 郷土種を中心とした奥飛鳥にふさわしい植栽の回復
- 現地発生石材を利用した瀬・淵の再生、変化ある水際植生による生物生息環境の保全
- 遊歩道や視点場(広場)整備による親水空間の創出と彩り植栽の充実
- 地域の活性化にも資するホタル生息環境を創出する植栽や水辺環境の創出

【今後の連携方策】 文化的景観の再生と維持に向けた、郷土種の調達や生物生息環境の再生等における周辺地域の活動と連携した体制の構築。

◆エリアの特徴的な景観



稲刈の棚田

□保全ゾーン(①)

短期 現況の自然植生(沿川樹木や水辺の植物)を保全する

□創出ゾーン I (④、遊水部)

短期 植生の保全・移植、自然素材による護岸緑化、郷土種による彩り創出、水際植生の再生等を図り、遊歩道や緩勾配護岸等により水辺に親しめる空間創出を図る



樹木がまだ植栽されていない遊水地(下池)周辺広場

□創出ゾーン II (②、河道部)

短期 植生の保全・移植、埋土種子による緑化を図るとともに、遊歩道等により水辺景観に親しめる空間創出を図る

□保全ゾーン(③)

短期 植生の保全・移植、埋土種子による緑化、郷土種による彩り創出、水際植生の再生を図るとともに、遊歩道や緩勾配護岸等により水辺に親しめる空間創出を図る



豊かな水辺林が見られる現状溪流区域の保全

□保全ゾーン(⑤・⑦)

短期 自然植生の保全を図るとともに、遊歩道等により水辺景観に親しめる空間創出を図る



豊かな水辺林が見られる現状溪流区域の保全

□創出ゾーン II (⑥、河道部)



水際の植生が回復していない河道部

□創出ゾーン I (⑧、遊水部)

短期 植生の保全・移植、自然素材や郷土種による護岸緑化、郷土種による彩り創出、水際植生の再生を図り、遊歩道や緩勾配護岸等により親水空間創出を図る



水際の植生が回復していない遊水地(上池)

